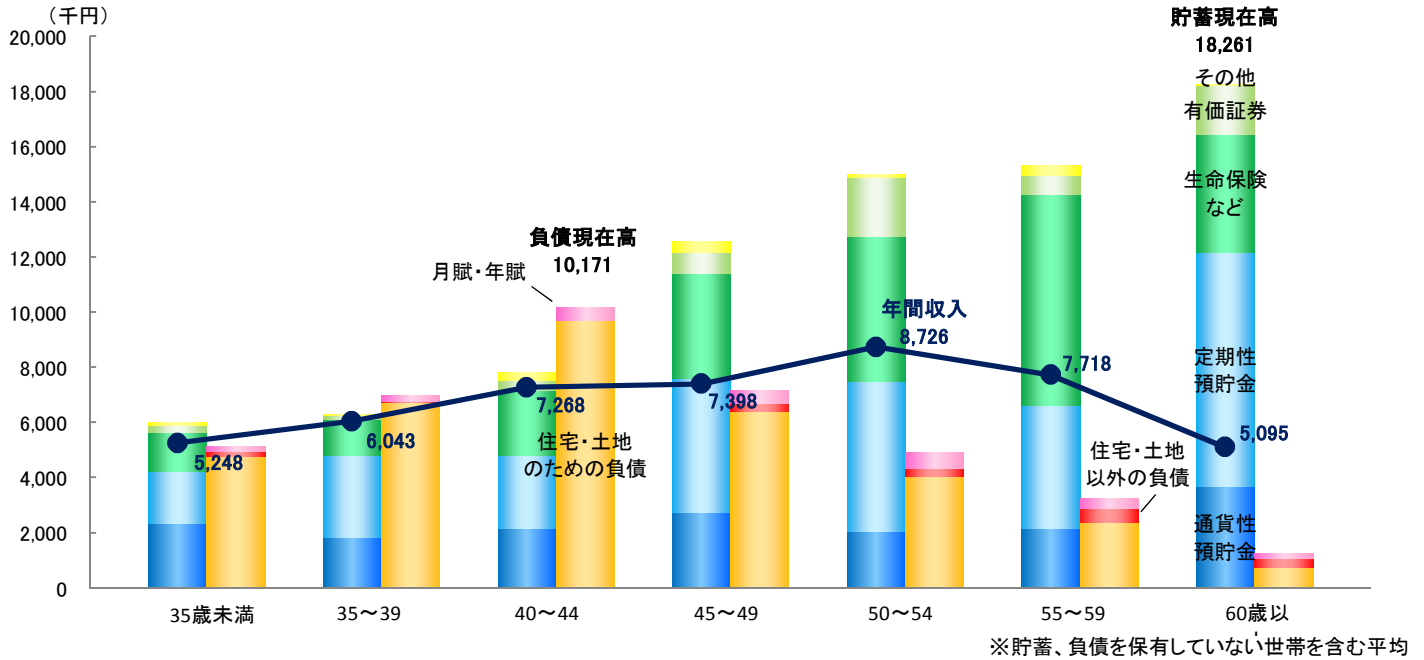


全国消費実態調査からみた鳥取県の家計の変化

貯蓄・負債の現在高及び年間収入、主要耐久消費財の所有数量及び普及率(平成26年)

(二人以上の世帯 調査期間:平成26年9月～11月)

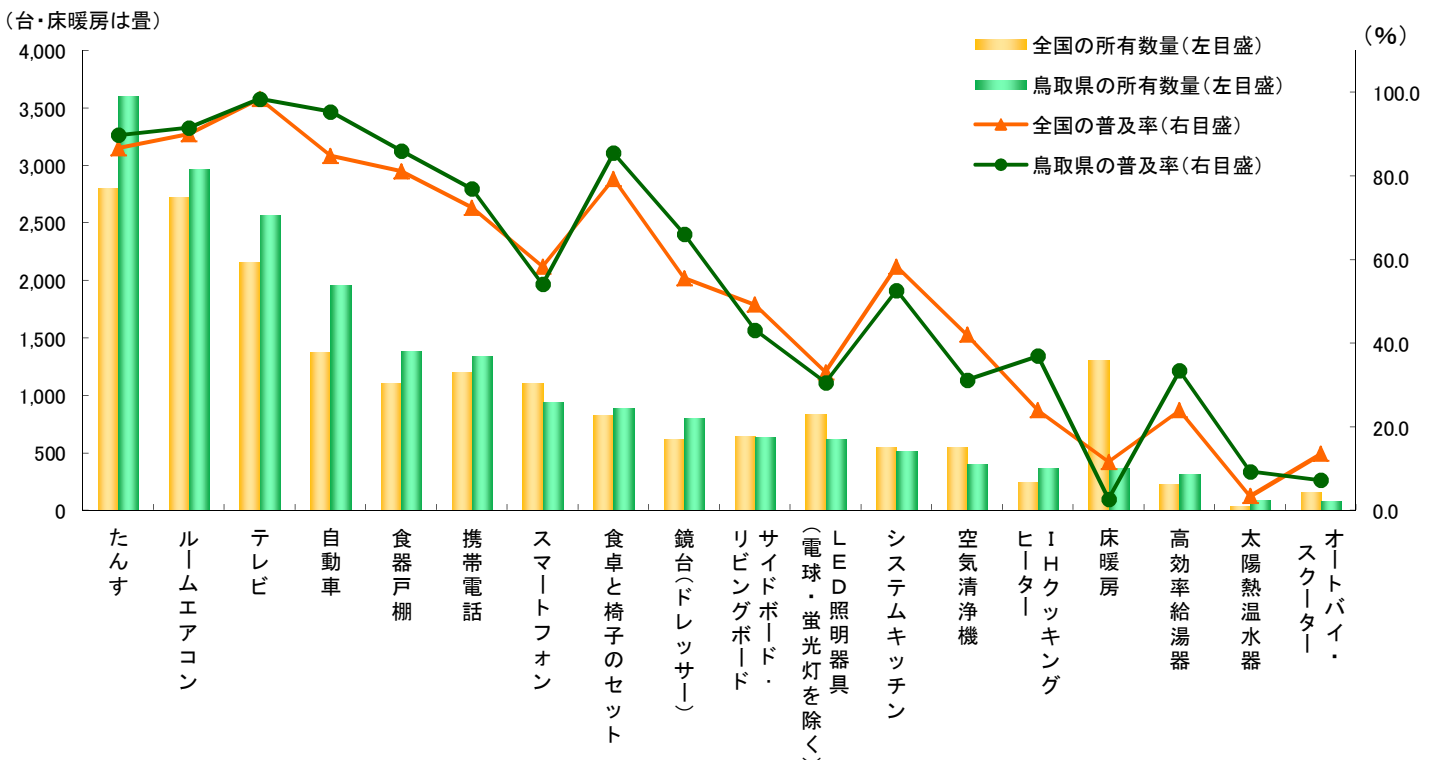
世帯主年齢階級別の貯蓄現在高・負債現在高及び年間収入



1世帯当たりの世帯主年齢階級別の年間収入は、50～54歳まで増加傾向にあり、55～59歳から減少しています。

貯蓄現在高は年齢階級が上がるにつれて増加しています。内訳をみると、55～59歳までは生命保険などが増加傾向にあり、60歳以上では定期性預貯金が増加しています。負債現在高は40～44歳まで増加し、その後減少しています。内訳をみると、主に住宅・土地のための負債が占めており、住宅ローンなどを払い終える年齢階級で負債現在高が減少しています。

1000世帯当たり主要耐久消費財の所有数量及び普及率



鳥取県の主要耐久消費財の所有数量及び普及率を全国と比較すると、「たんす」「ルームエアコン」「自動車」などは、全国に比べ鳥取県の所有数量が多く、普及率も高くなりました。「携帯電話」と「スマートフォン」をみると、携帯電話の所有数量及び普及率は全国よりも鳥取県が高く、スマートフォンの所有数量及び普及率は全国よりも鳥取県が低い結果となりました。